

ベトナム新幹線

日韓戦

日本勝利

6兆円受注

5面

ベトナムの高速鉄道事業について、韓国メディアが最近、同国企業が受注・参加するかのような報道を行っている。日本の新幹線導入が内定していたはずの同事業だが、朴槿恵(パク・クネ)大統領率いる韓国が強奪したのか。参院外交防衛委員会の片山さつき委員長(自民党)はベトナムに飛び、同国首脳らと会談して真偽を確かめてきた。

ベトナム高速鉄道事業

韓国参入報道の真偽に迫る

片山さつき氏



ベトナムの高速鉄道計画は、第1次安倍晋三政権時代の2006年、グエン・タン・ズン首相が日

「韓国で看過できない報道が続いていたので、確認してきました」片山氏はこう語る。韓国メディアは1月初旬、(ベトナムは当初、日本政府と(高速鉄道

フライニングか

の)事業推進を協議してきたが、最近、韓国へ方向を変えた」と報じた。ベトナム最大の経済都市ホーチミンとリゾート地のニャチャンを結ぶ総延長420キロの高速鉄道事業に、韓国の対外協力基金の資金を投入する」という内容だ。

ベトナム高速鉄道事業への参加をに
おわせる韓国紙の
サイト



ベトナム7兆円高速鉄道事業、韓国企業の参加協力

本に支援を求めたことから始まった。首都ハノイとホーチミンの約1600キロを結ぶ計画で、高い安全性や静粛性、高速性能を誇る新幹線の導入はベトナムの悲願だった。

ところが、総事業費が558億ドル(約6兆5900億円)と膨大だとして、10年にベトナムの国会で継続審議となった。また、14年5月に、日本のコンサルタント会社のリポート事件が発覚し、国営ベトナム鉄道の副総裁らが逮捕された。こうした混乱に目を付けたのが韓国だ。

片山氏は今月18日、日越友好議員連盟の二階俊博会長の名代として訪越し、レー・ヴィエト・ハイ副首相ら同国要人と面会した。当然、高速鉄道事業についても聞いた。片山氏はいう。「ハイ副首相は、韓国メディアの報道を否定しました。『すでに日本の費用で事業化調査に着手している、だから日本優先だ』と説明したので

日本が優位

出しの申し出はあったが、具体的な話にはならなかった」と明言していました。ベトナムは日本の新幹線を導入したいのです」韓国メディアの報道は「願望」か「フライニング」だったようだ。片山氏によると、ベトナム首相府は、新幹線の開通を5年めどに先延ばしし、第1段階は、ホーチミンーニャチャン間と、ハノイーヴィン(北部の都市)間に建設する計画を1、2週間以内に決定するとう。

トナムへの投資案件を掌握するブイ・クワン・ウイン計画投資大臣にも会い、尋ねました。彼は「ヨン書記長の訪韓にも同行しています。ヴィン大臣は『韓国から優遇貸し

明子)